

宮崎漁港(富山県管理・第1種)



平成26年8月22日撮影

- 漁港の所在地 下新川郡朝日町宮崎
- 漁港の指定 昭和26年7月28日 農林省告示第270号
- 漁港管理者の指定 昭和28年1月6日 農林省告示第1号
- 沿革

現在の宮崎漁港付近は漁港指定以前は砂礫の海浜地であった。第1～2次整備計画においては修築事業、第3～7次整備計画においては改修事業として、外郭施設、水域施設、係留施設等の基本施設及び機能施設を整備した。第8次整備計画では、漁港用地と背後集落地との高低差を利用し二階建構造としたPC片持ち張り出し式の「宮の崎橋」の整備により、岸壁に屋根がかかる構造となり、冬期の強風・降雪時の作業性を大きく向上させた。第9次整備計画では、漂砂対策としてサンドポケット、航路浚渫を実施するとともに、東側に漁港施設用地と漁港環境用地の確保を目指し護岸の整備を行った。

平成14年以降の新第1～2次漁港漁場整備長期計画では、地域水産物供給基盤整備事業により沖防波堤、航路浚渫、耐震強化岸壁、臨港道路等の整備を行った。

新第3次長期計画では、水産物供給基盤機能保全事業による航路浚渫や、漁港施設機能強化事業による外郭施設の耐震耐波工事を進めている。